

# 平成 28 年度事業報告

- 1 本会創立 90 周年記念事業を実施するとともに、「将来構想～今後 10 年の展望～」の重点項目である競技力の向上、スポーツの普及、組織力強化財政基盤強化について、事業を推進した。また、平成 30 年 2 月に本県で開催する「第 73 回国民体育大会冬季大会スキー競技会」での総合優勝を目指し、国体開催への機運醸成を図るとともに、選手強化事業を実施した。
- 2 競技力の向上については、国体男女総合成績 10 位台の定着を目指し、ジュニア選手の育成・強化等による強化事業を推進し、第 71 回国民体育大会においては男女総合成績 17 位という好成績を残した。また、本県からオリンピックに出場し、活躍できるトップアスリートの輩出を目指し、新潟県、市町村、企業、競技団体等と連携しながら、選手の育成強化及び優秀選手や指導者の確保に向けた事業を実施した。
- 3 「新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター」の指定管理者として、適切、かつ効果的な施設管理を行うとともに、本県の競技水準の向上と県民の健康づくり活動を支援するための事業を実施した。また、魅力ある施設として県民に認知されるよう、施設の「賑わい」や「活性化」に向けた事業を実施した
- 4 スポーツを通じて次代を担う青少年の健全育成を図るため、スポーツ少年団の育成事業を実施するとともに、平成 29 年に本県で開催する「第 55 回全国スポーツ少年大会」の開催準備を推進した。また、地域全体が主体的に連携・協働してスポーツを推進する仕組みづくりをより充実するため、新潟県広域スポーツセンター事業を中心とした総合型地域スポーツクラブの充実とスポーツの振興による地域活性化等を推進した。

## A 法人事業

### 1 県体育協会の運営 23,191,399 円

スポーツの普及・振興、競技力向上等の推進にあたり、関連団体の業務や事務局業務を担いながら新潟県の総合的なスポーツ振興に取り組んだ。

<事務局を担っている関連団体>

- ・新潟県広域スポーツセンター
- ・新潟県スポーツ少年団
- ・新潟県社会人スポーツ推進協議会
- ・公益財団法人スポーツ安全協会新潟県支部
- ・新潟県体育施設協会
- ・新潟県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

## 2 諸会議の開催

### (1) 評議員会及び理事会

会議名	期日	会場
定時評議員会	平成 28 年 6 月 20 日	ホテルラングウッド新潟
臨時評議員会	平成 29 年 3 月 24 日	デンカビッグスワンスタジアム
理事会 第 1 回	平成 28 年 6 月 6 日	デンカビッグスワンスタジアム
第 2 回	平成 28 年 6 月 20 日	ホテルラングウッド新潟
第 3 回	平成 28 年 12 月 14 日	デンカビッグスワンスタジアム
第 4 回	平成 29 年 3 月 15 日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

### (2) 専門委員会

会議名	期日	会場
スポーツ医科学委員会	平成 29 年 1 月 17 日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
競技力向上委員会	平成 29 年 2 月 7 日	HARD OFF ECO スタジアム新潟
生涯スポーツ委員会	平成 29 年 2 月 27 日	デンカビッグスワンスタジアム

### (3) その他委員会

会議名	期日	会場
評議員選定委員会	平成 28 年 5 月 17 日	デンカビッグスワンスタジアム

## 3 加盟団体等との連携強化

加盟団体、県や市町村のスポーツ行政等その他関係機関との連携強化及び親睦交流を深めるため、諸事業を開催した。

事業名	期日	会場
市町村体育協会連絡会議	平成 28 年 4 月 13 日	NSG 学生総合プラザ STEP
記念講演会 記念祝賀会	平成 29 年 1 月 21 日	ANAクラウンプラザホテル新潟
記念ゴルフ大会	平成 28 年 7 月 25 日	笹神五頭ゴルフ倶楽部

#### 4 創立 90 周年記念事業の実施

創立 90 周年を記念して講演会・祝賀会等の事業を実施した。

事業名	期日	会場
記念講演会 記念祝賀会	平成 29 年 1 月 21 日	ANAクラウンプラザホテル新潟
記念ゴルフ大会	平成 28 年 7 月 25 日	笹神五頭ゴルフ倶楽部

### B 公益事業

#### I 競技力向上対策事業の推進 245,269,196 円

本県の競技水準の維持・向上を図るため、県、加盟団体を始めとする関係機関・団体との緊密な連携・協力を目的とした諸会議を開催するとともに、各種強化事業を実施した。

##### 1 競技水準向上対策運營業務 27,099,682 円

本県競技水準向上対策の方針について競技団体等関係者との共通理解を図るため諸会議を開催するとともに、本県からオリンピック選手の輩出を目指し、選手の指定を行うためオリンピック選手育成検討委員会を開催した。

また、全国・ブロック大会等に役職員を派遣し各県の情報収集に努めた。

会議名	期日	会場
国体実施競技団体理事長 ・強化総括責任者会議 第 1 回	平成 28 年 6 月 25 日	NSG 学生総合プラザ STEP
第 2 回	平成 28 年 12 月 3 日	新潟ユニゾンプラザ
第 3 回	平成 29 年 3 月 18 日	新潟テルサ
オリンピック選手 育成検討委員会	平成 28 年 6 月 15 日	NSG 学生総合プラザ STEP

##### 2 競技水準向上対策事業 184,466,440 円

###### (1) 新潟スーパージュニア養成事業

###### ア 新潟ジュニア育成事業 23,296,000 円

将来の国体での少年種別の競技力の向上と国内トップ選手の育成を図るため、ジュニア選手（小学生・中学生・高校生）を対象として計画的・継続的な強化合宿を実施した。（39 競技）

###### イ 新潟県高校スポーツ強化指定校事業 16,389,000 円

少年種別の競技力向上と国内トップ選手の育成を図るため、高校生

等の育成拠点となる高等学校をスポーツ強化指定校として指定し、強化活動等を支援した。(26 競技・31 校)

**ウ 育成指導者配置事業 44,619,265 円**

競技力の向上を図るため、全国トップレベルの競技実績を有する育成指導者を市町村体育協会等に配置し、国体選手やジュニア選手に対して指導を行った。(10 競技 15 名)

**(2) 強化学業**

**ア 国体強化学業 73,866,000 円**

競技力の向上を図るため、国体選手及び次期候補選手の強化活動を支援した。(41 競技)

**イ 強化スタッフ支援事業 5,544,000 円**

国体選手や次期候補選手のスポーツ障害の予防・コンディションの調整・技術指導等を行うため、スポーツドクターやトレーナー、コーチ等を活動現場や国体へ派遣した。(36 競技)

**ウ 社会人・企業スポーツ指定強化学業 2,668,175 円**

社会人スポーツの振興を図るため、新潟県社会人スポーツ推進協議会においてその方策を協議するとともに、社会人・団体のクラブが行う強化活動を支援した。(企業スポーツ強化支援助成 9 企業・クラブチーム強化支援助成 6 クラブ)

会議名	期日	会場
総 会	平成 28 年 7 月 5 日	NSG 学生総合プラザ STEP
第 1 回幹事会	平成 28 年 4 月 26 日	デンカビッグスワンスタジアム
第 2 回幹事会	平成 28 年 8 月 4 日	デンカビッグスワンスタジアム
第 3 回幹事会	平成 28 年 12 月 13 日	HARD OFF ECO スタジアム新潟
第 4 回幹事会	平成 29 年 3 月 8 日	デンカビッグスワンスタジアム

**エ トップコーチ等招へい事業 7,000,000 円**

オリンピックや国内で活躍する選手の育成と指導者の資質向上を図るため、国内外のトップコーチを招へいし、指導を受けた。(7 競技)

**オ スキー国体特別強化学業 11,084,000 円**

本県で開催される、「第 73 回国民体育大会冬季大会スキー競技会」での男女総合優勝を目指し、国内外での強化練習会を実施した。

3 オリンピックアスリート夢チャレンジ事業 33,703,074円

(1) 社会人スポーツ雇用支援事業 6,000,000円

優秀な社会人選手や指導者が本県を拠点に活動できるよう、雇用を受け入れた企業に対して支援を行った。(3団体 6名)

(2) オリンピックアスリート活動支援事業 13,200,000円

強化指定選手等の国内外の遠征等、強化活動に対して支援を行った。(11競技 32名)

(3) コーディネーター配置事業 6,191,074円

優秀な選手や指導者が本県に定着し、地域社会で活躍できる仕組みづくりなどを行うためコーディネーターを配置した。

(4) 水球のまち柏崎における日本水球の聖地化による地域活性化事業  
8,312,000円

水球競技を通じて、各種プログラムの実践等による環境の充実等を図りながら、交流事業の積極的な展開や交流人口の拡大などによる地域の活性化に寄与することを目的に実施した。

ア オリンピック選手の育成 (6人)

イ ジュニア選手の底辺拡大及び強化活動支援

- ・高等学校の水球部活動の強化 (1校)
- ・ジュニア水球選手の底辺拡大、強化 (1団体)

II 国民体育大会関連事業の推進 12,203,819円

国民体育大会への選手等の参加・派遣に関する業務を推進した。

<第71回国民体育大会成績>

大会名	男女総合成績		女子総合成績	
	得点	順位	得点	順位
冬季大会	166.5点	5位	50.0点	15位
本大会	887.5点	22位	560.5点	19位
合計	1054.0点	17位	610.5点	19位
前回合計	767.0点	39位	405.5点	40位

< 第 72 回国民体育大会成績 >

大会名	男女総合成績		女子総合成績	
	得点	順位	得点	順位
冬季大会	146.0 点	7 位	44.0 点	16 位

1 国民体育大会及び北信越国民体育大会への本県選手団派遣

各季大会の新潟県選手団を編成し、下記大会に選手団を派遣した。

また、国体本部役員としてスポーツドクターを派遣し、現地における選手の競技活動を医科学面から支援するとともに、国体参加者の傷害事故を補償する制度の加入に努めた。

大会名	会期	開催地	派遣人数
第 71 回国体本大会	平成 28 年 10 月 1 日 ～10 月 11 日	岩手県	518 名
第 72 回国体冬季大会 スケート競技会・アイスホッケー競技会	平成 29 年 1 月 27 日 ～31 日	長野県	42 名
第 72 回国体冬季大会 スキー競技会	平成 29 年 2 月 14 日 ～17 日	長野県	106 名
第 72 回国体冬季大会 アイスホッケー競技会 北信越・東海ブロック予選会	平成 28 年 12 月 16 日～18 日	愛知県	28 名
第 72 回国体冬季大会 フィギュア競技会予選会	平成 28 年 12 月 10 日～11 日	群馬県	5 名
第 37 回北信越国民体育大会	平成 28 年 8 月 26 日～28 日	長野県	777 名
合計			1,497 名

2 国体ユニフォーム購入補助

国体県選手団が着用する選手団ユニフォームの購入費用を補助した。

3 アンチ・ドーピング教育・啓発活動の推進

国体選手・指導者に対し、アンチ・ドーピングの教育・啓発活動の一環としてドーピングコントロール研修会を実施したほか、啓発リーフレットを作成し各競技団体、県内高等学校やスポーツドクター協会等に配布した。

事業名	期日	会場
アンチ・ドーピング 教育啓発研修会	平成 28 年 6 月 25 日	NSG 学生総合プラザ STEP

### Ⅲ 新潟スポーツムーブメントの推進

#### 1 新潟スポーツムーブメント推進事業 6,615,178 円

新潟県のスポーツ文化の発展を促すため、スポーツ情報提供やスポーツ功労者等の表彰及びスポーツ事業の支援・助成を行った。また、(公財)日本体育施設協会の体育施設運営士養成講習会等を開催した。

講習会名	期日	会場	参加者数
体育施設運営士養成講習会	平成 28 年 9 月 20 日 ～21 日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター	29 名
スポーツ救急手当講習会	平成 28 年 9 月 15 日		2 名

#### (1) スポーツ情報の収集発信の推進

本会ホームページを運営するとともに、本会の諸活動や加盟団体等の情報発信と公益法人としての情報公開に努めた。

#### (2) スポーツ功労者等の表彰

会議名	期日	会場
表彰選考委員会	平成 28 年 12 月 6 日	デンカビッグスワンスタジアム

表彰名	氏名 (敬称略)	所属 / 推薦団体	表彰式 期日/会場
スポーツ栄光賞	小野塚彩那	石打丸山スキークラブ	
特別賞	久保倉里美	新潟アルビレックスランニングクラブ	<日時> 平成 29 年 1 月 21 日
スポーツ功労者賞 11 名	森 登志男 中山 宏 柴山 義榮 五十嵐 治 馬場 正和 星野 利朗 羽下 仁 貝沼 憲志 阿部 信一 高橋 四郎 白井 孝雄	新潟県ドッジボール協会 新潟県バレーボール協会 (一財) 燕市体育協会 (公財) 新潟市体育協会 (一財) 新潟県水泳連盟 小千谷市体育協会 (公財) 新潟市体育協会 新潟県相撲連盟 新潟県山岳協会 南魚沼市体育協会 (公財) 新潟県スキー連盟	<会場> ANAクラウンプラザホテル新潟

優秀指導者賞 6名	高野 夕子 中川 正博 鈴木 孝行 岸 一成 山之内 謙 宮澤 豊彦	(一財)新潟県陸上競技協会 (一財)新潟県陸上競技協会 (一財)新潟県水泳連盟 (公財)新潟県スキー連盟 (公財)新潟県スキー連盟 (公財)新潟県スキー連盟	
公認スポーツ 指導者賞 3名	森 庄一 松木 保 室賀 大樹	新潟県山岳協会 (一財)新潟県水泳連盟 (公財)長岡市スポーツ協会	
優秀競技者賞	113名	16競技団体	
奨励競技者賞	2名	新潟県スポーツチャンバラ協会	

### (3) スポーツ振興支援事業の実施

スポーツ団体が実施するスポーツ事業の開催を支援することで、本県におけるスポーツの普及・振興を図るため18団体に補助した。

## 2 日本スポーツマスターズ2016への参加

生涯スポーツのより一層の推進を目的に、スポーツ愛好者の中で、競技志向の高いシニア世代を対象とした総合スポーツ大会として秋田県において開催された「日本スポーツマスターズ2016秋田大会」(13競技実施)への参加業務等を推進した。

大会名	会期	開催地	参加者数
日本スポーツマスターズ2016秋田大会	平成28年9月24日 ～27日(中心会期)	秋田県	198名 (11競技)

## IV スポーツ指導者の養成等 3,076,445円

### 1 公認指導員講習会の開催

(公財)日本体育協会公認指導員養成講習会専門科目を開催した。

なお、共通科目は(公財)日本体育協会が定める通信教育により行われた。

開催競技	期日	会場	参加者数
水泳	平成28年6月5日 ～10月30日	柏崎市中央地区 コミュニティセンター 他4会場	20名

ソフトテニス	平成 28 年 10 月 29 日～11 月 27 日	メイワサンピア 他 2 会場	16 名
バドミントン	平成 28 年 8 月 27 日～11 月 23 日	新潟大学教育学 部	23 名
バレーボール	平成 28 年 8 月 20 日 ～9 月 25 日	長岡向陵高校他 1 会場	18 名
軟式野球	平成 28 年 11 月 19 日～27 日	HARD OFF ECO スタジアム新潟	29 名

## 2 スポーツ指導者研修会の開催

(公財) 日本体育協会公認スポーツ指導者の更なる資質向上と活動促進及び指導者の連帯感を深め、組織的活用を図るため開催した。

研修会名	期日	会場	参加者数
新潟県スポーツ指導者研修会	平成 29 年 2 月 19 日	新潟ユニゾンプラザ	374 名

## V 広域スポーツセンターの運営等 16,029,808 円

「新潟県スポーツ推進プラン」(平成 28 年 3 月策定)に基づき、県民一人一人が日常生活の中にスポーツを取り入れる社会の実現を図るため、新潟県が本会内に設置した「新潟県広域スポーツセンター」の事業を推進した。

### (1) 総合型地域スポーツクラブの育成・支援

総合型地域スポーツクラブの創設と活動を支援するため、クラブアドバイザー(スポーツ振興くじ助成事業)を 1 名配置し、総合型クラブへの指導・助言を行うとともに、各種研修会等を開催し、クラブの資質向上と連携強化を推進した。また、クラブの安定化等に向け新潟県が策定した「新潟県総合型地域スポーツクラブの指針」の運用を図るとともに、クラブの地域における認知度・理解向上と役割の確立を図り、自立を促すため、「総合型地域スポーツクラブ協働展開事業」を実施し、多分野とクラブとの連携・協働を促進した。

### ア 研修会等の開催

事業名	期日	会場	参加者数
第 1 回 ビジネスマナーの 基礎を学ぶセミナー	平成 28 年 6 月 22 日	新潟県健康づくり・スポーツ 医科学センター	22 名

第2回 プレスリリース & WEB活用セミナー	平成29年2月21日	同上	39名
新潟県総合型地域 スポーツクラブ連 絡協議会研修会	平成28年10月 26日～27日	長岡市川口地 域交流体験館 他	42名
総合型地域スポー ツクラブ実務担当 者研修会	平成28年5月24日	新潟県健康づ くり・スポーツ 医科学センタ ー	69名(クラブ 関係者等50 名・市町村行 政19名)

### イ 総合型地域スポーツクラブ協働展開事業

指定団体	活動概要
NPO法人 希楽々 (村上市)	中学校と協働し、人数が少なく成立しない部活動をクラブ主体で新しいカタチの部活動として運営
認定 NPO 法人新発田市総合型地域スポーツクラブ (新発田市)	市教育委員会、小学校、市青少年健全育成センター等と協働し、小学生の長期休業中の運動不足解消を図るための教室を運営
NPO法人 T a p (津南町)	町観光協会、旅館組合、企業等と協働し、地域の観光資源(雪など)を活用した体験型観光プログラムを運営

### (2) スポーツと地域活性化の好循環創出事業の実施

東京オリンピック・パラリンピックの開催によるスポーツ気運の高まりを背景に、スポーツの力と地域資源を活用し、誰もが健康で活力に満ち、住みたい・訪れたいと思える魅力ある地域づくりに取り組む活動を支援する「スポーツと地域活性化の好循環創出事業(平成28年度～30年度)」を指定団体とともに実施した。

指定団体	活動概要
NPO法人 希楽々(村上市)	総合型クラブと企業(店舗)との協働による地域課題解決
認定 NPO 法人新発田市総合型地域スポーツクラブ(新発田市)	総合型クラブによる障害者の運動機会等の創出
一般社団法人 三条市体育協会 (三条市)	カヌーによる地域の活性化
一般社団法人 オールアルビレックス(新潟市)	企業等の社員向け健康運動プログラム実施

ブルボンウォーターポロクラブ柏崎 (柏崎市)	小学校（低学年）への水泳・水球の普及教育活動
---------------------------	------------------------

### (3) スポーツ情報の収集・提供

県内のスポーツ情報ポータルサイト「にいがた Sports.net」を運営し、様々なスポーツ情報の収集・発信を行った。また、「新潟県生涯スポーツの現状」などの統計資料を作成・公開した。

### (4) その他関連業務の実施

国（スポーツ庁）の「体力・運動能力調査」「総合型地域スポーツクラブ活動状況調査」等を始め、新潟県体育施設協会事務局業務（総会・研修会開催、調査・名簿作成等）、ラジオ体操の普及などの事務を実施した。

## VI 高等学校体育連盟助成金 390,861 円

（公財）日本体育協会国民スポーツ推進キャンペーンとして実施される「推進費付き自動販売機設置事業」に協賛して、県内高等学校に設置した自動販売機の販売手数料を高等学校体育連盟へ助成金として交付した。

## VII スポーツ少年団の育成 16,299,651 円

スポーツを通じて心身ともに健全な青少年を育成するため、日本スポーツ少年団等との連携により平成 29 年開催の「第 55 回全国スポーツ少年大会」の開催準備を始めとする諸事業を実施するとともに、広くジュニアスポーツの振興を図るため、関係団体との連携協力や「いじめ見逃しゼロ県民運動」にも取り組んだ。

### 1 新潟県スポーツ少年団の運営及び登録の促進 8,097,582 円

#### (1) 諸会議の開催

新潟県スポーツ少年団の関連会議（総会、正・副本部長会議、表彰選考委員会、11 専門部会）を開催し、事務・事業の円滑な実施を図るとともに、日本スポーツ少年団の諸会議に参加したほか、幹事県・主管県として北信越ブロックスポーツ少年団連絡協議会理事会及び日本スポーツ少年団北信越・東海ブロック会議を開催した。

会議名	期日	会場
総会 第1回	平成28年6月2日	NSG 学生総合プラザ STEP
第2回	平成29年3月10日	

## (2) 登録数の拡大促進

市町村スポーツ少年団の設置促進及び登録者（団員・指導者）の維持・増加を目指し、スポーツ少年団活動の充実を図った。

### ア 平成28年度市町村設置状況

28市町村（新設：粟島浦村、未設置：出雲崎町・刈羽村）

### イ 登録状況

区分	団数・人数	前年度比
単位団	647 団	△18 団
指導者及び役職員	3,734 名	△49 名
団員	12,693 名 男子 8,828 名 女子 3,865 名	△418 名

## (3) 情報提供の推進

「にいがたスポ少ニュースレター」（2万部）を発行するなど、広報と情報提供を推進した。

## (4) 顕彰の実施等

表彰名	表彰数等
新潟県スポーツ少年団顕彰 単位団 指導者	3 団 14 名
日本スポーツ少年団顕彰 市町村 指導者	魚沼市、上越市 3 名

## 2 事業の実施 8,202,069 円

### (1) 広域（地域）活動の支援 250,000 円

上越、中越及び下越の地区連絡協議会が実施する事業に助成し、各地区におけるスポーツ少年団活動の充実を図った。

(2) 第 36 回新潟県スポーツ少年団総合体育大会の開催 2,618,114 円

開催競技	会期	開催地	参加者数
剣道、卓球、バドミントン、柔道、空手道、軟式野球、サッカー、バレーボール、少林寺拳法、ミニバスケットボール	平成 28 年 4 月 30 日 ～12 月 4 日	小千谷市、新潟市、十日町市、長岡市、上越市、柏崎市、魚沼市、村上市	3,066 名

(3) 北信越ブロック事業への参加 477,024 円

大会名	会期	開催地	参加者数
第 47 回北信越ブロックスポーツ少年大会	平成 28 年 7 月 29 日 ～31 日	富山県	指導者 1 名 団員 6 名
第 36 回北信越ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 バドミントン バレーボール	平成 28 年 8 月 6 日 ～7 日 平成 28 年 11 月 12 日～13 日	福井県	指導者 1 名 団員 6 名 1 チーム
第 38 回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会北信越大会	平成 28 年 7 月 17 日 ～18 日	富山県	2 チーム

(4) 全国スポーツ少年団交流大会等への派遣 1,032,565 円

大会名	会期	開催地	参加者数
第 54 回全国スポーツ少年大会	平成 28 年 7 月 28 日 ～31 日	香川県	指導者 1 名 団員 5 名
第 39 回全国スポーツ少年団剣道交流大会	平成 29 年 3 月 25 日 ～27 日	愛知県	小学生団体 指導者 1 名 団員 5 名 個人戦 中学生男女 各 1 名

第 14 回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会	平成 29 年 3 月 25 日 ～28 日	福井県	小学生女子 指導者 3 名 団員 12 名
---------------------------	---------------------------	-----	-----------------------------

(5) 国際交流活動の実施 1,427,366 円

事業名	期間	派遣（受入）先	人数
第 43 回日独スポーツ少年団			
派遣	平成 28 年 7 月 31 日 ～8 月 17 日	ドイツ	団員 3 名
受入	平成 28 年 8 月 3 日 ～7 日	長岡市	指導者 1 名 団員 12 名

(6) 指導者の養成と資質向上の促進 1,747,348 円

事業名	期日	会場	参加者数
スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会	平成 28 年 6 月 25 日 ～ 平成 29 年 2 月 12 日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター 他 3 会場	159 名
新潟県スポーツ少年団指導者研修会	平成 28 年 12 月 4 日	長岡市 さいわいプラザ	54 名
北信越ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会	平成 28 年 11 月 12 日	まちなかキャンパス長岡	50 名
認定育成員研修会	平成 28 年 10 月 22 日～11 月 20 日	国立オリンピック記念青少年総合センター	3 名
第 21 回スポーツ少年団指導者全国研究大会	平成 28 年 6 月 26 日	東京都 ホテルグランドパレス	6 名
幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム講習会	平成 28 年 7 月 ～平成 29 年 2 月	東京都 他	普及講習会 8 名 講師講習会 2 名

(7) リーダーの育成 649,652 円

事業名	期日	会場	参加者数
新潟県スポーツ少年団リーダー研修会	平成 28 年 4 月 22 日	長岡市 市民体育館	17 名
シニア・リーダースクール	平成 28 年 8 月 4 日 ～ 8 日	静岡県 国立中央青年交流の家	2 名
ジュニア・リーダースクール	平成 28 年 8 月 20 日 ～ 22 日	国立妙高少年 自然の家	34 名
全国スポーツ少年団リーダー会	平成 28 年 9 月 24 日 ～ 25 日	国立オリンピック記念 青少年総合センター	1 名
北信越ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会	平成 28 年 11 月 19 日～20 日	石川県 ギゴ山ふれあい 研修センター	6 名

(8) 第 55 回全国スポーツ少年大会の開催準備

平成 29 年 7 月 28 日（金）～31 日（日）に国立妙高青少年自然の家を主会場に開催する「第 55 回全国スポーツ少年大会」の開催準備活動として、香川大会の視察、企画会議等の開催、会場予定施設視察、関係団体への依頼などを推進した。

VIII 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターの管理運営

173,511,355 円

指定管理者として施設を適切に管理運営するとともに、本県の競技水準の向上及び県民の健康づくり活動の支援を行った。

1 事業の推進

(1) 競技水準向上事業 67,964,818 円

ア 体力測定・動作分析

本県アスリートの競技水準の向上、スポーツ愛好者の体力向上のため、体力測定・動作分析による科学的な測定及び分析、それに基づく科学的なトレーニング指導による支援を行った。

内容	人数
体力測定	1,030 名
動作分析	205 名
競技力向上相談	1,792 名

## イ スポーツ医科学サポート補助事業

国体候補選手等が、健康づくり・スポーツ医科学センターで行うメディカルチェックや体力測定、動作分析等の費用を補助した。

(延べ1,020名)

### (2) 診療所の運営 38,437,244円

診療所を核として、体力測定・健康づくり事業利用者の医学検査・データ分析により、スポーツ障害の整形外科疾患、生活習慣病等の内科疾患に対し予防・治療を行い、その収集データにより関連機関と連携し、臨床的側面を含めた調査研究を行った。

内 容		利用者数
内 科	体力測定医学検査	776名
	改善コース医学検査	104名
	健康サポート医学検査	93名
	小計	973名
整形外科外来診療		2,422名
リハビリテーション外来診療		1,781名
自主事業内科外来診療		316名
合 計		5,492名

### (3) 健康づくり実践指導の実施 22,065,321円

県民の健康維持・増進及び生活習慣病の予防・改善に寄与する健康づくりのモデルコース（医師の健康管理下による生活習慣しっかり改善コース・個別プログラムサービス）の実施を通して、「健康づくりの実践的な指導者の養成」と「県内各地への配置」の支援を行った。

内容	実施期間	参加者数
生活習慣しっかり改善コース	平成28年4月16日 ～3月25日	567名
親子健康づくりコース	平成28年6月25日 平成28年7月30日	45名
健康づくり実践指導者の育成	平成28年4月1日 ～3月31日	433名
個別プログラムサービス	平成28年4月1日 ～3月31日	638名
健康づくりのための運動指導者研修会 室内運動指導者研修会	平成29年2月27日	57名

水中運動指導者研修会	平成 28 年 11 月 14 日	30 名
------------	-------------------	------

**(4) 施設一般利用 35,052,101 円**

利用者ニーズの対応としてフリーパス券の複数種類提供、各種事業や他の公共施設・スタジアムとの連携を行い、長期的、継続的な利用を促進し、センターの認知度を高めた。

内容	利用者数
フィットネスホール	31,511 名
研修室	11,458 名
情報コーナー	5,942 名

**(5) スポーツと健康づくりの情報発信 3,895,377 円**

事業の紹介や成果は、ホームページ、マスメディアの広報媒体や刊行物等を活用し、来館者に対しては、「情報コーナー」を「トキめき広場」と改称するとともに、機能充実を図り、広く発信を行った。

刊行物
年報・業績集、パンフレット、各種事業のスケジュール等詳細チラシ

**(6) 県民講座の開催 1,088,116 円**

健康づくり及び競技スポーツに関する公開講座や運動教室等の指導を行い、県民の知識・技術の取得を図った。またセンターの賑わい創出を図るイベントをスタジアム等と連携し開催した。

講座名	参加者数
一般講座	275 名
専門講座	171 名
にぎわいイベント	706 名

**C 収益事業 5,008,378 円**

民間企業等へ研修室等の貸出しを行った。

利用者数 5,311 名